



繋げる・伝える・応援する 復興に向けた新しい『いわき Web アワード GP』

復興バージョンコンセプト

被災地いわきから伝えたいことがある。いわきを応援したい。
こんな思いを繋げて復興を後押ししたい。

いわき Web アワードは、2003 年より毎年開催されてきたいわきのホームページのコンテストです。今回 2011 年版は、東日本大震災被災地いわきの復興をテーマに、ソーシャルメディアの流れも取り入れた新生バージョン『いわき Web アワード GP』として開催されます。

2011 年 3 月 11 日、東日本大震災でいわき市は甚大が被害を受けました。

それから 4 ヶ月が過ぎ、まだ癒えない被災の跡や被災者の窮状も残る一方、復興に向けて元気に歩み出す動きも数多く起こっています。

そうした、忘れてはいけないこと、いわきから伝えたいこと、今頑張っていることを広く全国、世界へと伝え、復興に向けた人と人との繋がりを応援するために、いわき Web アワードは生まれ変わりました。

いわきを伝えたい、いわきを応援したい、いわきと繋がりたい、そんな方々を大募集します。



津田大介氏プロフィール

いわき Web アワード GP エグゼクティブプレゼンター

早稲田大学社会科学部在学中より IT 関連のライターとして執筆活動を開始

IT・音楽ジャーナリストとして、ネット、音楽、ハード、マルチメディア系の記事を執筆

日本で Twitter をいち早く開始し、2009 年に執筆した「Twitter 社会論～新たなリアルタイムウェブの潮流～」が話題を呼び、日本

における Twitter ジャーナリストの第一人者として、現在、全国の Twitter セミナーやソーシャルメディアのイベント、ラジオ、テレビと様々なイベントや番組に参加

2010 年早稲田大学大学院政治学研究科ジャーナリズムコースの非常勤講師

2010 年上智大学文学部新聞学科非常勤講師

2011 年武蔵大学社会学部メディア社会学科非常勤講師

2011 年ラジオ J-WAVE の「JAM THE WORLD」火曜担当

2010 年 12 月、いわきでの Twitter イベントへの参加をきっかけとし、東日本大震災後、何度もいわき市を中心とした被災地を訪問していく中、「いわきの復興に役立ちたい」と、2011 年 6 月、福島県いわき市豊間地区でチャリティーイベント「SHARE FUKUSHIMA」を開催

「SHARE FUKUSHIMA」の参加告知が行われたのは、開催のわずか 2 週間前。早朝に東京をたち、正午を挟んで被災地見学、がれき撤去やゴミ拾いなどのボランティア活動を行い、午後 2 時 30 分から約 2 時間のライブに参加し、夕刻に現地をたつて東京に戻るというスケジュールのバスツアーは、たった 1 日で定員の 84 席を埋めてしまった。1 万円のツアー参加費全額と義援金を合わせた 100 万円が募金団体などを通さず直接いわき市豊間地区に寄付された。

●公式ホームページ

<http://www.iwaki-webaward.com/>

エントリーや投票に係る個人情報は、主催者が責任をもって管理し、第三者に漏れることはありません。

■ スポンサー募集

いわき Web アワード GP では、
このイベントといわきを応援してくださる
スポンサー様を大募集しております。

いわきを応援したい。いわきからの情報発信を応援したい。被災地いわきでの活動を応援したい。そんな気持ちをお持ちの企業様、団体様はぜひスポンサーになって頂けますようお願い申し上げます。

スポンサーになっていただきますと、スポンサー賞を設定できます。

スポンサー賞には独自のテーマを設けることができ、そのテーマに沿ったエントリーを募ることが出来ます。評価は、テーマ内よがっぺ数の多いサイトの他、スポンサー様の基準による評価も可能です。

スポンサー様よりの協賛金は、70%を受賞者へ、30%を運営費として事務局へと配分させていただきます。協賛金の他に協賛品、サービスによる協賛も募集しております。

お問い合わせ

いわき Web アワード GP 実行委員会

いわきリエゾンオフィス企業組合内

〒970-8026 いわき市平作町 2-1-9 エスビル 2F

TEL 0246-35-1430 FAX 0246-35-1431

mail:info@iwaki-webaward.com 担当：竹田 洋一